

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【公開番号】特開 2005-183356 (P2005-183356A)

【公開日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)

【年通号数】公開・登録公報 2005-026

【出願番号】特願 2004-127506 (P2004-127506)

【国際特許分類】

H 0 1 J 61/36 (2006.01)

H 0 1 J 9/26 (2006.01)

F 2 1 S 8/10 (2006.01)

F 2 1 Y 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 61/36 C

H 0 1 J 9/26 B

H 0 1 J 9/26 E

F 2 1 M 3/02 G

F 2 1 Y 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 16 日 (2007.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

セラミック・アークエンベロープ (1 2、5 4、8 2、1 0 2、1 2 2、3 5 2、4 0 2) と、

3 5 から 5 5 重量パーセントのレニウムを含むモリブデン - レニウム合金を含み、前記セラミック・アークエンベロープ (1 2、5 4、8 2、1 0 2、1 2 2、3 5 2、4 0 2) 内に延びる通路を有する延性の充填管と、

前記通路を通り、前記セラミック・アークエンベロープ (1 2、5 4、8 2、1 0 2、1 2 2、3 5 2、4 0 2) 内に延びるリード線と、

前記セラミック・アークエンベロープ (1 2、5 4、8 2、1 0 2、1 2 2、3 5 2、4 0 2) と前記延性の充填管との間のシール材料のない密閉シールと、
を備え、

前記延性の充填管の一部は、前記リード線の周りで機械的に圧縮されている、
高圧放電ランプ。

【請求項 2】

前記密閉シールは、前記セラミック・アークエンベロープ (1 2、5 4、8 2、1 0 2、1 2 2、3 5 2、4 0 2) の近傍部と前記延性の充填管の間の熱的な結合を含む、請求項 1 に記載の高圧放電ランプ。

【請求項 3】

前記熱的な結合は、前記セラミック・アークエンベロープ (1 2、5 4、8 2、1 0 2、1 2 2、3 5 2、4 0 2) と前記延性の充填管の両方の拡散材料を含む、請求項 2 に記載の高圧放電ランプ。

【請求項 4】

前記密閉シールは、モリブデン拡散結合を含む、請求項 1 に記載の高圧放電ランプ。

【請求項 5】

前記密閉シールは、タングステン - サーメット拡散結合を含む、請求項 1 に記載の高圧放電ランプ。

【請求項 6】

前記タングステン - サーメット拡散結合はタングステンのリード線を含む、請求項 5 に記載の高圧放電ランプ。

【請求項 7】

前記密閉シールは、金属 - サーメット拡散結合を含む、請求項 1 に記載の高圧放電ランプ。

【請求項 8】

前記セラミック・アークエンベロープ (1 2、5 4、8 2、1 0 2、1 2 2、3 5 2、4 0 2) 内に、ガス、水銀、金属ハロゲン化物を含む、請求項 1 に記載の高圧放電ランプ。

【請求項 9】

中空のランプ本体と、

3 5 から 5 5 重量パーセントのレニウムとモリブデンを含む充填管と、

前記充填管を通り、前記中空のランプ本体内に延びるリード線と、

前記リード線の周りに配置された、前記充填管の冷間溶接シールと、

を備えるランプ (1 0、5 0、8 0、1 0 0、1 2 0、3 5 0、4 0 0) 。

【請求項 1 0】

前記充填管の一部が、前記リード線の周りで機械的に圧縮されている、請求項 9 に記載のランプ。